

令和2年



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
106

発行●(公財)香川県市町振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/宇多津町

My Town

巡る楽しさを生み出すまちづくり

株式会社サニーサイド 代表取締役社長 多田 周平さん

Top Message

先入観と既成概念をなくし、暁くちからを見つける

地域の元気印/高松市男木島

People

男木島図書館



あまり本を読まなかったという島の人人が本を借りてくれたり、放課後の子どもたちが駆け込んできてくれたりするときに、
男木島図書館を開設した喜びを感じるという福井さんご夫妻。現在は、図書館に統いて地域に役立つ新たな場所づくりも構想しているとか。





大人を癒やす水族館を核に
巡る楽しさを生み出すまちづくり

まちづくりの将来像に「元気創造」を掲げる宇多津町に、「四国水族館」がオープン。それに併せ、ラウンドアバウト（環状交差点）などの先進的な道路整備も進められています。今、注目の臨海都市開発について、オープン直前の水族館や町役場を訪ね、お話を伺いました。



新都市の 新たな中核施設として

瀬戸大橋の開通により四国の玄関口となつた宇多津町。瀬戸内海に面し瀬戸大橋を眺望するウォーターフロントには、かつて塩田が広がっていました。1971年に塩田が廃止され、跡地を埋め立てて新たなまちづくりが始まり、「新宇多津都市」と名付けられました。大型店も出店し、にぎわいを見せていましたが、バブル崩壊やリーマンショックの影響などもあり、やがて中核となる施設を失ってしまいました。「新都市エリアの活性化のために官民のメンバーによる協議会が立ち上りました。

宇多津町としては建設場所の確保や、周辺の環境整備等を担うこととなりました。公園や道路など、多岐にわたる面的な整備が必要なため、国土交通省の「敷地を町が確保、交付金を活用しての周辺整備」となりました。

はもちろん、ガイドマップの作製など幅広い事業が可能となりました。

「水族館の敷地については臨海公園を充てることになりましたが、町の土地を貸す故の苦労もありました。返却条件などをクリアしなければならない課題が多く、担当者は相当苦悩したと聞いています」と当初の苦労話を披露してくれたのは、現在のまちづくり課の本田侍郎副



6、宇多津町地域整備課主査 大西 和昌さん。
宇多津町まちづくり課副主幹 本田 侍郎さん。



、宇多津町地域整備課主査 大西 和昌さん。
津町まちづくり課副主幹 本田 侍郎さん。

四国水族館がある宇多津臨海公園は、瀬戸内海を染める夕日や瀬戸大橋のライトアップなどロマンチックなロケーションにより「恋人の聖地」に認定されています。園内には複合施設の「うたづ海ホタル」や塩づくりが体験できる復元塩田、遊具広場などがあり、幅広い世代が楽しむことができます。



宋多津臨海公園 改修名之

らに都市公園法に従わなければならず、建ぺい率の問題も立ちはだかりました。幸いにも平成23年の地方分権一括法により地方自治体の権限が広がりました。そこで、**都市公園条例を改正し、水族館建設**に向けて大きく一步前進しました。

公共交通の利用促進をはかるため、歩道・歩行者専用道路の再整備を行い、より歩きやすい空間を生み出し、宇多津臨海公園・四国水族館へ向かう歩道にフラッゲを設置するなど、楽しく歩ける雰囲気づくりを行います。

宇多津町では、歩行者や自転車に特化した専用道を整備してきました。2022年をめどに公園などの公衆トイレスのバリアフリー化も進めています。四国霊場札所や宿泊施設もある「古街」と呼ばれるエリアにも足を伸ばし、宇多津町をゆっくりと歩いて巡ってほしいと願っています。

も紹介します。四国で10番目に誕生した水族館であり、四国の全ての水族館を巡つてほしいという願いも込められています。

「**大人の癒やし空間をコンセプト**とし、アートも楽しめ、見ているだけで癒されるという水景を見せるだけに留まらず、そこに息づく生きもの達の魅力や、文化や歴史まで思いを馳せていただけるよう展示にも工夫を凝らしてまいります。」と語る森本さん。アーティストとのコラボレーションが実現した特別展示「伝説の水景『龍宮の景』」も必見です。

公園の中にある水族館ですので、生涯学習の場としても活用できます。夕景の美しさに定評があるので、ゴールデンウイークや夏休みは21時まで開館予定。水族館のみならず、宇多津町での滞在時間が延び、町内での食事、宿泊、買い物につながります。

「周辺整備も含めて予定通り無事にオープンしてくれることをひたすら祈っています。オープン後は公共交通を利用し、駅から歩いてほしい。歩くことで気付くオープン直前の心境を熱く語ってくれた本田副主幹。水族館を核に、歩いて巡るまちづくりの開港式が開催されます。

宇多津町の魅力はたくさんあります。それが古街にも足を運ぶきっかけになり、町滞在につながることを願っています」と



瀬戸内海に面した地上2階建ての「四国水族館」は、展示数400種14,000点、「四国最大級」の規模を誇ります。「四国水景」をテーマに、四国ならではの水の風景や水中世界を再現。地域文化を感じることができる次世代型の水族館です。



地域活性化の起爆剤となり得る水族館の開館に向けて語り合うみなさん。左から、宇多津町総務課 亀井瞳さん、大西さん、四国水族館管理部 営業課森本 尚子さん。



差点の中央に中央島と呼ばれる円形の分離帯を設置する交差点です。

「香川県初の導入となるので、四国で初めて導入した愛媛県松前町の話を伺い、参考にしました。松前町では設置以来ラウンドアバウトでの交通事故はゼロだそうです」と語る大西主査。今回の導入により、信号待ち時間が解消される「交通の円滑化」、速度抑制等による「事故抑止」が期待されています。その他信号機撤去に伴う維持管理費の削減やとなるといったメリットもあります。

「四国水族館の名前には、**四国全体の魅力を紹介できる水族館**でありたいと
いう願いが込められています」と水族館のコンセプトや魅力を語ってくれたのは四
国水族館管理部営業課の森本尚子さん
もちろん瀬戸内海の美しい景観
を生かした水族館ですが、太平
洋の黒潮に躍る
魚や四万十川、



©四国水族館



©四国水族館

差点の中央に中央島と呼ばれる円盤分離帯を設置する交差点です。

瀬戸内海と四国の魅力を 伝える水族館

も紹介します。四国で10番目に誕生した水族館であり、四国の全ての水族館を巡つてほしいという願いも込められています。

「大人の癒やし空間をコンセプト」とし、アートも楽しめ、見ているだけで癒されるという水景を見せるだけに留まらず、そこに息づく生きもの達の魅力や、文化や歴史まで思いを馳せていただけるよう展示にも工夫を凝らしてまいります。」と語る森本さん。アーティストとのコラボレーションが実現した特別展示「伝説の水景『龍宮の景』」も必見です。

公園の中にある水族館ですので、生涯学習の場としても活用できます。夕景の美しさに定評があるので、ゴールデン

香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

株式会社サニー・サイド 代表取締役社長 多田 周平さん

香川県は「灯台下暗し」。遠くに目を向けて探さなくても、自分たちの足元に宝が眠っています。

5年後、10年後の人口予測を見るだけでも、今、何をすべきかが見えてくるはず。すでに、マジヨリティーとマイノリティーは逆転し始めています。「先入観と既成概念」をなくし、暉くちからを見つけてください。

今、世界中が取り組む持続可能な開発目標[SDGs(エス・ディー・ジー・ズ)]では、2030年までの国際目標として、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。この目標を日々の仕事の中で特に構える」となく自然に行つたのが、丸亀市に拠点を持つ「株式会社サニー・サイド」です。[SDGs]に取り組もうとする行政や企業が大いに学ぶべき知恵やノウハウを持った株式会社サニー・サイド代表の多田周平氏にお話を伺いました。



「暉くちから」には、自ら輝くだけではなく、その光で周りの人を「暉(てらす)」という意味があります。

会社案内はより深く理解してもらえるように、香川県在住の著名な画家である山口一郎氏に依頼し、イラストで経営理念を伝えています。

日指すのは、誰もが「自分らしく輝く大切な居場所づくり」。それを実現するために、清掃関係の仕事を行う「クリーン事業」、うどん店の経営などを「フーラワー事業」、農業に取り組む「サンラウンド事業」、就労移行支援機関と協力して取り組む「就労訓練事業」、高松市で「ホステル事業」などを行っています。

設立の経緯など今までの道のりをお聞かせください。

現在42歳、就職氷河期の世代です。大学時代からビルメンテナンスのアルバイトをしていたので、県内のビルメンテナンス会社にそのまま就職しました。そこで出会った上司が、何の取りえもない半ば将来を諦めている僕をやたら褒めてくれるんです。アルバイト時代から「お前には才能がある」と、ある店舗の現場責任者に抜てき

貴社の経営理念や事業内容をお教えください。

経営理念は「個性が共生し、調和が発展を生む」。理想のお題目ではなく、日々実践しています。経営方針であり、目的であり手段でもあります。

日指すのは、誰もが「自分らしく輝く大切な居場所づくり」。それを実現するために、清掃関係の仕事を行う「クリーン事業」、うどん店の経営などを「フーラワー事業」、農業に取り組む「サンラウンド事業」、就労移行支援機関と協力して取り組む「就労訓練事業」、高松市で「ホステル事業」などを行っています。

積極的に障害者雇用を行われるようになつた、きっかけや経緯について教えてください。

弊社はレオマリゾートの仕事を受託しています。

香川県は比較的仕事に恵まれた土地柄で、ただでさえ人手不足なのに、清掃の仕事となるとさらに人が集まつてしまません。そうした現実を考えると、問題解決のために、障害者、ニート、引きこもり、シングルマザー、高齢者といった社会的に就労弱者とカテゴライズされている人たちの力を借りなければ無理だと気づきました。

だから、人にとって仕事とはなにかを真剣に考えるようになりました。自分がしてもらつたように、誰もがいきいきと働ける環境を今度は僕が創りたいと思うようになりました。平成23年に株式会社サニー・サイドを設立しました。



丸亀市綾歌町にあるホテルレオマの森。
サニー・サイドは全241室を快適に整えています。



会社案内はより深く理解してもらえるように、香川県在住の著名な画家である山口一郎氏に依頼し、イラストで経営理念を伝えています。

日指すのは、誰もが「自分らしく輝く大切な居場所づくり」。それを実現するために、清掃関係の仕事を行う「クリーン事業」、うどん店の経営などを「フーラワー事業」、農業に取り組む「サンラウンド事業」、就労移行支援機関と協力して取り組む「就労訓練事業」、高松市で「ホステル事業」などを行っています。

設立の経緯など今までの道のりをお聞かせください。

現在42歳、就職氷河期の世代です。大学時代からビルメンテナンスのアルバイトをしていたので、県内のビルメンテナンス会社にそのまま就職しました。そこで出会った上司が、何の取りえもない半ば将来を諦めている僕をやたら褒めてくれるんです。アルバイト時代から「お前には才能がある」と、ある店舗の現場責任者に抜てき

東京2020オリンピック 聖火リレー in 香川 実施に向けた取り組みについて

オリンピック聖火リレーとは、ギリシャの太陽光で採火された聖火を、ギリシャ国内と開催国でリレーし、開会式当日に、聖火台に点火するまでのものであります。

オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、開催国全体にオリエンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持つています。

日本全国47都道府県を回る東京2020オリンピック聖火リレーは、3月26日に福島県をスタートし、121日間をかけて全国858市町を巡ります。

本県には、全国で12番目に聖火が到来し、4月18日(土)・4月19日(日)の二日間をかけて県内8市9町全ての自治体を聖火が巡ります。

東京2020大会香川県内ルート

本県では、1日目は中讃・西讃地域を中心に、2日目は東讃地域を中心にして聖火リレーが実施され、合計169の区間をつなぎます。瀬戸内海を臨むルートや、歴史的建造物を目前に走行するルートなど、それぞれの地域の魅力が詰まったルートが選定されています。

1964年当時のルート

1964年9月20日・21日、香川県で初めてとなる夏のオリンピック聖火リレーが実施されました。徳島県から

東京2020大会 聖火ランナーについて
聖火ランナーについては、香川県実行委員会としても募集を行い、本県にゆかりのある方、合計1866人にご応募いただき、推薦分も合わせた53人の聖火ランナーが選ばれました。各聖火ランナーは約200mの距離を走行します。

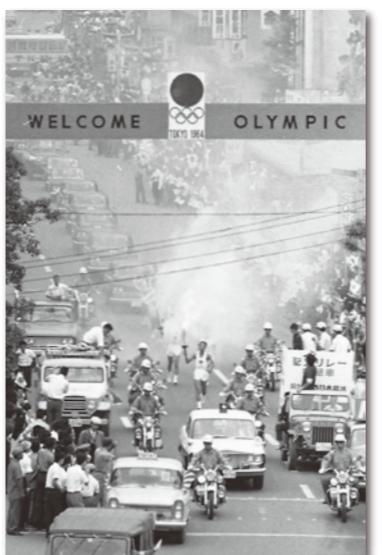
1964年当時の聖火ランナー

1964年当時の聖火ランナーは、県内の高校生、大学生ランナーが選抜され、1人1~2kmの距離を35人でつなぎました。

誰もが参加できる聖火リレーに

本県における聖火リレーは、聖火ランナーだけでなく、誰もが参加できる聖火リレーを目指しており、ボランティアの募集を行いました。聖火リレー当日には、一般募集のボランティアの他、企業・団体ボランティア、高校生ボランティアなど多くの方々にご協力いただく予定です。

また、本県での聖火リレーは土日開催ですので、多くの県民の皆様に沿道までお越しいただき、是非とも聖火リレーを間近に体感していただけます。



高松市中央通りを走行するランナー
(1964年9月21日撮影)

だきたいと考えています。

本県としては、沿道の皆様に安全にご観覧いただくための環境整備に取り組むため、各市町の皆様や県警の方々と連携をとりながら、実施に向けて準備をすすめています。

当日は、聖火リレー実施エリア付近では交通規制が予定されています。本県では、交通規制による影響を最小限にとどめるため、交通規制区間や回路についての周知を、県広報誌や実行委員会のホームページなどの各種媒体を用いて行います。

当日に向けて

今回のオリンピック聖火リレーを通じて、県内8市9町すべての魅力を世界へ発信し、県域全体の活性化につなげたいと考えています。市町の皆様にも、聖火リレー当日の積極的な参加について、市民・町民の皆様に対し呼びかけを行い、貴市町の魅力発信に繋げていただければ幸いです。

市町の皆様にも、聖火リレー当日の積極的な参加について、市民・町民の皆様に對し呼びかけを行い、貴市町の魅力發信に繋げていただければ幸いです。

今回のオリンピック聖火リレーは、聖火ランナーだけでなく、誰もが参加できる聖火リレーを目指しており、ボランティアの募集を行いました。聖火リレー当日には、一般募集のボランティアの他、企業・団体ボランティア、高校生ボランティアなど多くの方々にご協力いただく予定です。

誰もが参加できる聖火リレーに

本県における聖火リレーは、聖火ランナーだけでなく、誰もが参加できる聖火リレーを目指しており、ボランティアの募集を行いました。聖火リレー当日には、一般募集のボランティアの他、企業・団体ボランティア、高校生ボランティアなど多くの方々にご協力いただく予定です。

1964年当時の聖火ランナー

1964年当時の聖火ランナーは、県内の高校生、大学生ランナーが選抜され、1人1~2kmの距離を35人でつなぎました。

誰もが参加できる聖火リレーに

本県における聖火リレーは、聖火ランナーだけでなく、誰もが参加できる聖火リレーを目指しており、ボランティアの募集を行いました。聖火リレー当日には、一般募集のボランティアの他、企業・

江 戸の昔、海の神様「こんぴらさん」を目指して、全国各地から多くの人が押し寄せました。
参拝客がたどった金毘羅街道のなかでも、最もにぎわったのが「丸亀街道」です。今回は、丸亀市城乾コミュニティ有志のみなさんのガイドで、丸亀港から中府の大鳥居まで丸亀街道とその周辺をたどります。

香川の まち歩き



こんぴら湊まるがめ街道 丸亀市



江戸講中灯籠(太助灯籠)前から、今も昔も金毘羅街道の旅が始まります。当時は、港から丸亀城はもちろん、琴平にある高灯籠も見えたそうです。



左から、小阪修二さん、原田義郎さん、川上康夫さん、丸亀市産業観光課観光担当長の江渕貴彦さん。

着く讃岐の地。夜ともなれば、現在の瀬戸内海からは想像できないほど漆黒の闇が広がりました。そこにともる「太助灯籠」の明かりは、どれほどうれしいものであったか。江戸時代に思いをはせながら、一歩を踏み出そうとすれば気になるのが座り姿の武士の銅像。この人こそが丸亀藩の偉人「瀬山登」です。江戸屋敷の留守居役となつた瀬山は、金毘羅千人講を作つて参詣客の誘致をはかり、その受け入れのために新しい港「新堀湛浦」を築き、江戸の豪商などを動かし藩の財政を痛めることなく「太助

灯籠」を完成させました。



「すぐこんひら」と書かれた道しるべ。こんぴらさんまで「もうすぐ」ではなく、「まっすぐ」進めという意味です。



「蕪村寺」とも呼ばれる妙法寺(天台宗)。蕪村が描いた国的重要文化財「蘇鉄図」「寿老人図」「竹図」など、6点が保管されています。



「百四十丁」の丁石を過ぎると、江戸の風情を残す土壁や格子窓の古い家並みも見えてきます。

JR丸亀駅の駅前から南に向かい富屋町に入れば、マップ、丸亀城の石垣をまねて造られた展望台もあります。当時を物語るパネル展示では、港のにぎわいぶりがうかがえます。丸亀藩士の津坂木長が著した「丸亀繁盛記」によると、うどん屋だけでも38軒もあつたとか。公園から東の一帯に、丸亀藩の御用商人であつた大坂屋黒瀬家の屋敷があり、綿の積み出しを行つていました。木長の表現では、一面に綿雪が舞つていたそうです。

JR丸亀駅の駅前から南に向かい富屋町に入れば、丸亀京極家の祈願所「妙法寺」があります。俳人である与謝蕪村は、1766(明和3)年から3年にわたり讃岐の地を訪れ、丸亀では妙法寺に滞在し、ふすま絵を残しました。続いて妙法寺の南西、県道33号沿いに道するべと休憩所が見えてきます。その角を入れば、路地の右手にも道しるべ。その傍らには、江戸時代に歌舞伎などで一躍有名になつたあだ討ちの主人公、田宮坊太郎を紹介した案内板があります。坊太郎の墓は「玄要寺」に建てられており、歌舞伎役者が、公演前にお参りに来ていたそうです。路地の奥にある玄要寺は京極家の菩提寺で、南条町から隣の農人町にまたがる大寺院でした。道に延びる道は丸亀城の外堀でした。お堀の橋を渡つたつもりで進めば、分かれ道にあるのが「百四十丁石灯籠」。百四十丁は「こんぴらさんまでの距離を示しています。

やがて、道幅一杯に迎えてくれるのが中府の大鳥居。昭和の南海地震で倒壊し、金刀比羅宮が修復してくれたという経緯があります。大鳥居をくぐり、中府三軒家の三つ角まで歩き、そこから丸亀城へ向かうコースもありますが、この日は大鳥居から丸亀港へと帰り道をたどりました。途中で通町にある「手打ちうどんづみ」



ぶっかけの名店「手打ちうどん つづみ」で「ぶっかけうどん」をいただきました。



ふれあい拠点「まちの駅 秋寅の館」は、休憩所やギャラリーとして活用されています。館では防空ごう下、再び港に帰り、この日のまち歩きは解散です。ガイドさんは、昭和の時代から地元で暮らすみなさん、歴史の話はもちろん、子ども時代の思い出など、興味津々のお話が次々と出てきます。港と金毘羅街道、城下町の変遷を体感できるまち歩きでした。



1764(明和元)年に建てられた南条町の石灯籠。現在も移築されることなく、道路の方が避けて、再び港に帰り、この日のまち歩きは解散です。ガイドさんは、昭和の時代から地元で暮らすみなさん、歴史の話はもちろん、子ども時代の思い出など、興味津々のお話が次々と出てきます。港と金毘羅

「こんぴら湊まるがめ街道」

問い合わせ先 丸亀市産業観光課 ☎ 0877-24-8816

でぶっかけうどんを味わうのもこのコースの楽しみ。さらに、「まちの駅 秋寅の館」で一休み。建物は明治時代、農機具などを販売していた秋山寅吉商店のもので、大正末期から昭和初期に建られ、戦後に再建築しました。通町をぬけて、再び港に帰り、この日のまち歩きは解散です。ガイドさんは、昭和の時代から地元で暮らすみなさん、歴史の話はもちろん、子ども時代の思い出など、興味津々のお話が次々と出てきます。港と金毘羅街道、城下町の変遷を体感できるまち歩きでした。





特定のジャンルにこだわってはいませんが、瀬戸内海に関する本、写真集、児童図書が多くなるとか。



築約100年、廃屋同然であった民家をみんなの力を結集させることで、図書館として再生させました。

高松港からフェリーで約40分、瀬戸内国際芸術祭(瀬戸芸)以降、移住者が増えているという男木島。港には、2010年の瀬戸芸で製作された「男木島の魂」という作品が目に飛び込んでいます。今では交流館として使われているモダンな建物とは対照的に、一つ路地に入ると昔ながらの家並みが斜面に寄り添います。そんな民家の一つに男木島図書館があります。

「特定非営利活動法人 男木島図書館」は、市営でも町営でもない私設図書館として、2016年2月に開館しました。開設したのは、ご主人が男木島の出身という福井(額賀)順子さん。2013年に開催された瀬戸芸の際に、ご主人の大和さんの仕事の都合で島に滞在することになりました。当時、小・中学校は休校中。校舎を会場としたアート作品の展示やワークショップが行われていました。そこに参加した娘さんが、「この学校に通つてもいいな」とつぶやいた一言が福井さん夫妻の背中を押し、一家で大阪から男木島に移

された瀬戸芸の際に、ご主人の大和さんの仕事の都合で島に滞在することになりました。当時、小・中学校は休校中。校舎を会場としたアート作品の展示やワークショップが行われていました。そこに参加した娘さんが、「この学校に通つてもいいな」とつぶやいた一言が福井さん夫妻の背中を押し、一家で大阪から男木島に移

された瀬戸芸の際に、ご主人の大和さんの仕事の都合で島に滞在することになりました。当時、小・中学校は休校中。校舎を会場としたアート作品の展示やワークショップが行われていました。そこに参加した娘さんが、「この学校に通つてもいいな」とつぶやいた一言が福井さん夫妻の背中を押し、一家で大阪から男木島に移



館内の一画にカフェコーナーがオープンすることも。コーヒーとチャイが楽しめます。

福井(額賀)順子さんは図書館のポテンシャルを語ります。さらに、人々が集う図書館は移住を希望する人たちの「相談

窓口」となりました。ちなみにご主人の大和さんは、移住の相談などを受ける「特定非営利活動法人 男木島生活研究所」の代表であり、男木地区連合自治会の会長も務めています。

現在は島の人口約160人の約4割が移住者、そのうち半数以上を子育て世代が占めるようになりました。そこで、順子さんを中心とした保護者らが立ち上げたのが「男木島、未来の教育プロジェクト」。子どもたちに、島の環境を生かして生きる力を育てよう、時代の波を乗り越える力をつけようと取り組んでいます。

男木島を拠点とし、海を越えて人々を結びつける

人

が持つ可能性を明るく発信する灯台のようなキーパーソンです。

DATA

男木島図書館
香川県高松市男木町148-1

※貸出期間は1か月、島外の人は文庫本のみ。
最初に100円でカードを作成します。休館日・開館時間とも不定です。HPをご確認ください。
<https://ogijima-library.or.jp/>



高松市 男木島

人と未来を結ぶ



ウェブデザイナーであり、現在はライターの仕事もこなす順子さんは、ワールドプレスキャンプアジア※の実行委員でもあり、2018年には男木島にキャンプを誘致しました。
※webサイトを管理するCMSで世界シェアトップの「WordPress(ワードプレス)」。そのスキルを1日で学ぶのが「ワールドプレスキャンプ」。

香川の自治に新しい力

New Face はじまして

■あなたが熱中していることは?
四国の道の駅のスタンプラリーを回ることです。四国87駅のうち、50駅は回ることができました。

■高松市をこうしたい!
コンパクトなまちづくりで、高齢者や子どもにとつて暮らしやすいまちにしたいです。

■丸亀市をこうしたい!
観光地や名物が多いことです。日本一高い石塔を有する丸亀城や、食べたら病みつきになる骨付鳥は丸亀市の自慢です。



■あなたが熱中していることは?
笑顔です。思いっきり笑うと目が練みたいに細くなります。

■観音寺市をこうしたい!
市民の方には「ずっと住んでいたい」、また市外の方には「観音寺市に住みたい」と思ってもらえるようなまちにしたいです。



■あなたが熱中していることは?
目標に走っています。丸亀ハーフマラソンにも参加します。

■さぬき市をこうしたい!
県内外の方が住みたくなるような活気があります。子どもからお年寄りまで暮らし続けられる福祉のまちにしたいです。



■あなたが熱中していることは?
誰に對しても優しく接することができます。自分もそう意識しています。

■三豊市をこうしたい!
私は農林水産課で農業振興をしていますが、農地の保全を通して、三豊市の美しい景観を守つていただきたいです。



■あなたが熱中していることは?
小学生にサッカーを教えること、ドライブをすること、お出掛けをすることがあります。

■琴平町をこうしたい!
琴平町は外国人観光客が多いと思うので、それを生かして人口増加につなげていきたいと思います。



■あなたが熱中していることは?
コンパクトなまちづくりで、高齢者や子どもにとつて暮らしやすいまちにしたいです。

■高松市をこうしたい!
観音寺創生課 大平真子さん



■あなたが熱中していることは?
笑顔です。思いっきり笑うと目が練みたいに細くなります。

■観音寺市をこうしたい!
市民の方には「ずっと住んでいたい」、また市外の方には「観音寺市に住みたい」と思ってもらえるようなまちにしたいです。



■あなたが熱中していることは?
バドミントンです。大会に出たり、お世話になった地元のジユニアで一緒に練習したりしています。

■東かがわ市のいいところは?
和三益やママチ、全国シェア日本一を誇る手袋といった特産物がたくさんあり、海と山に囲まれた自然豊かなところです。



■あなたが熱中していることは?
まちの歴史を踏まえ現状を適切に分析し職務にあたり、誰からも頼られる職員になりたいです。

■宇多津町のいいところは?
多世代が暮らす賑わいのあるまちです。新都市、古街(こまち)、田畠という風景の移ろいにほれぼれます。まもなく水族館もOPEN!



